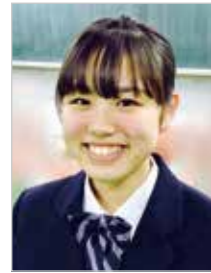


高校生のみなさんからの手紙。

今年度創立110周年を迎える矢板高校。昨年11月に開催した高校生との意見交換会の際に、当時の生徒会副会長(現在は生徒会長)に意見交換会の感想や、矢板市の望むことなどをインタビューさせていただきました。



矢板高校3年(当時2年)
齋藤 楠乃香さん

議会との意見交換会に参加するのは初めてで、不安もありました。議員の方もしゃべりにくい、関わりにくい方たちかと思っていましたが、気さくな方が多く、安心して楽しく意見交換ができました。ふせんに自分の意見を書くやり方だったので、みんなの意見をより多く発表することができ、話すことが苦手な私でも多くの意見を出すことができました。

みんなの意見を聞いて、「もっと街灯がほしい」、「駅の近くに勉強できるスペースがほしい」など共感できる意見がたくさんありました。

私たちの意見がとおって、1つでも実現されたら嬉しいです。

8 通目

次回5月臨時会、6月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/30	6/1	2	3	4	5	6
					本会議(開会)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議(一般質問)			常任委員会		
14	15	16	17	18	19	20
				本会議(閉会)		
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5/15(金) 臨時会
7/16(木) 全員協議会
いずれの日も10:00開会(変更の場合があります。)

議会を知る。

「矢板市議会だより」は、2月、5月、8月、11月に発行します。ご一読いただき、生活に密接に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会の動画を見る。

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。また、会議の開催中は市役所1階のテレビで生中継を行っています。

議会を見学する。

議会は自由に傍聴いただけます。ご希望の方は、議会開催日に矢板市役所3階にお越しください。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会に参加する。

議会に対して、陳情等を提出することができます。また、ご意見・ご提言なども随時お寄せください。

矢板市議会へのご意見・ご提言はこちらまでお寄せください。いただいでから1か月を目安に矢板市議会HPでご回答いたします。

・FAX
0287-44-1100
・Email
gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp
・封書など
〒329-2192
矢板市本町5-4
矢板市議会事務局宛

+ 編集後記 +

今回の議会だよりは、矢板市の予算について注目いたしました。矢板市の財政について少しでも分かりやすい表現を試みましたが、皆様いかがでしたでしょうか？これから矢板市の市政に関して皆様に興味を持っていただき、多くのお声を頂ければ幸いです。

時世は新型コロナウイルスの影響で、多くの市民の皆様が不自由な生活を強いられておられることと思います。感染予防にくれぐれもご配慮され、ご自身のお身体をご自愛くださいますようお願いいたします。議会としても、この問題には注力・尽力し、市民の皆様のお安全安心の確保に努めてまいります。

(石塚 政行)

※次号(第210号)は8月1日発行予定です。



議会広報広聴委員会

- 小林勇治 ○櫻井恵二 ○藤田欽哉
- 石塚政行 神谷 靖 中里理香
- 高瀬由子 関由紀夫 石井侑男
- ※○は委員長、○は副委員長

第209号

矢板市議会だより
2020年5月1日

編集/議会広報広聴委員会
発行/矢板市議会
印刷/株式会社グエスタ

〒329-2192 矢板市本町5番4号
Tel: 0287-43-6216 Fax: 0287-44-1100
Mail: gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会 検索

矢板市議会だより

第360回 定例会

令和2年度当初予算案などを可決

第209号

令和2年5月1日

矢板市の家計簿
「今年は何に使うの？」



目次

矢板市の家計簿「今年は何に使うの？」……………2	市勢発展のために！「一般質問」報告……………9
特集「& 議会」アスリートの声をお届けします…4	政務活動費の交付状況……………13
矢板市議会の審議結果/委員会審査レポート……………6	高校生のみなさんからの手紙……………16

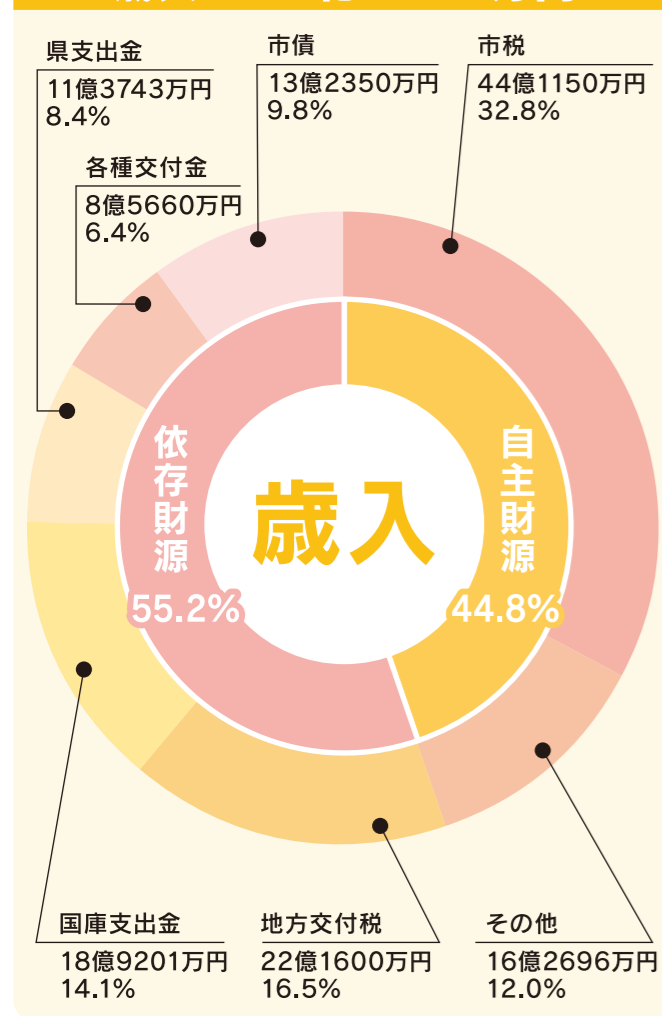


? 矢板市の家計簿 今年は何に使うの?

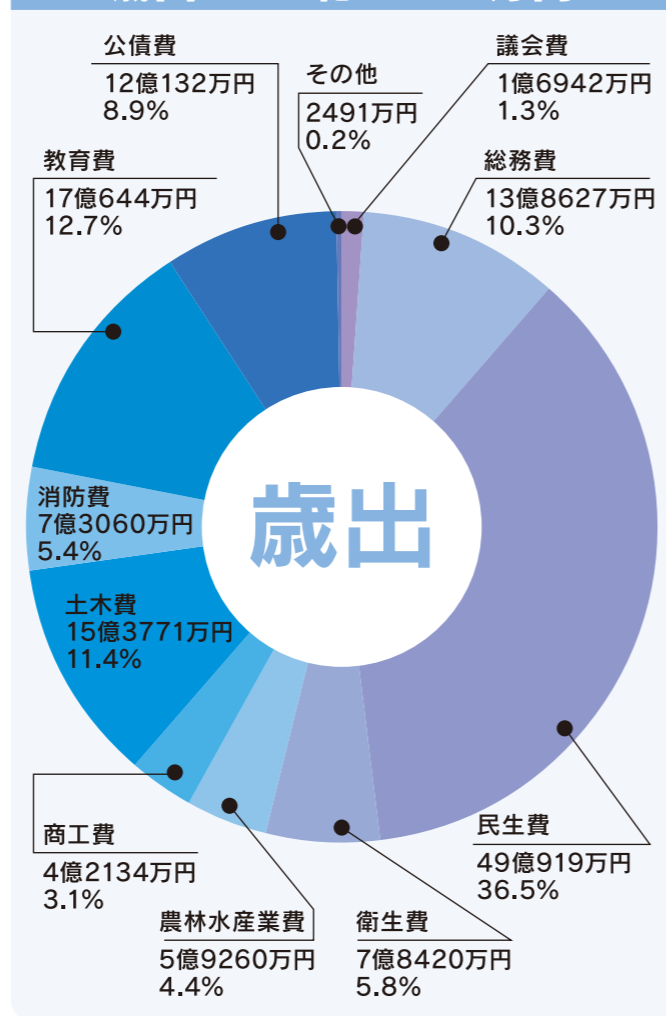
2020年3月19日
可決成立

一般会計

歳入:134億6400万円



歳出:134億6400万円



特別会計・企業会計

会計名	介護保険	国民健康保険	後期高齢者医療
今年度	31億4010万円	37億9490万円	3億9540万円
前年度	31億2750万円	37億190万円	3億7450万円

会計名	ハッピーハイランド矢板排水処理事業	水道事業	下水道事業
今年度	4100万円	12億2600万円	13億1420万円
前年度	-	11億9100万円	-

※一般会計、特別会計、企業会計いずれも万の単位で掲載。千単位は四捨五入しています。

今年は何に使うの?

2020年度の矢板市の「財政状況」がどうなっているのか?
全体の予算とお金の使い道を1か月の「家計簿」にして、お伝えいたします。

予算を家計に例えると?

一般会計の予算を、月に30万円の家計に置き換えて説明いたします。

ローンの借入れが昨年に比べてアップ。

基本給、諸手当とも昨年度と比較して減っており、銀行からのローンは増えています。これは、いちご一会とちぎ国体に充当する事業債などの増加によるものです。

扶助費は医療の給付費など福祉や医療にかかる費用で、**支出全体の約5分の1(21.7%)を占めています。**

収入	
給与	27万600円
給与内訳	
基本給	13万4400円
諸手当 (地方交付税、国・県支出金)	13万6200円
ローンの借入れ (市債)	2万9400円
合計	30万円

支出	
家族の医療費 (扶助費)	6万5100円
食費 (人件費)	5万2200円
ローンの返済 (公債費)	2万6700円
光熱費や電話代などの生活費 (物件費・補助費・維持補修費)	8万4300円
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	2万5800円
家の増改築 (普通建設事業費)	3万8100円
貯金など (積立金など)	7800円
合計	30万円

「家族の医療費(医療給付などの扶助費)」、「食費(人件費)」、「ローンの返済(公債費)」の3つは「義務的経費」と言われていて、削減することが非常に難しいお金です。矢板市だけではなく、全国的に増えている傾向で、義務的経費がさらに増えると、新しい施策に使えるお金がどんどん減っていきます。

用語解説

- 自主財源/市税など自らの権限で徴収・収納できる財源。
- 依存財源/国や県を経由する財源で用途や自治体の裁量が制限されているもの。
- 地方交付税/財源に恵まれた自治体と財源不足に苦しむ自治体間の財政不均衡を是正する事を目的とし、国から交付されるもの。使い道は自由。
- 支出金/国や県から、特定の事業を促進する目的で用途を指定して交付されるもの。
- 総務費/市の運営や市職員の給与などにかかる経費。
- 民生費/高齢者福祉や児童福祉、生活保護などにかかる経費。
- 公債費/市債の返済にかかる経費。

アスリートの 声をお届けします。

今回は、オリンピックの開催年!...の1年前ということで、矢板市が推進しているスポーツツーリズムにちなんで、スポーツの分野でご活躍の方々にスポットを当て、お話を聞かせていただきました。

矢板中央高校サッカー部 高橋監督



【矢板市について思うことは？】

■ 県外から来ている子が多いので、矢板を第2の故郷にしたいと考えています。関東だけでなく京都や和歌山、徳島、遠くは沖縄などからも矢板市にサッカーをしに来ています。■ また、地域の方との交流が出来るチームにしていきたいとも思っています。■ もし、市内のボランティア団体の方々に協力ができる交流イベントなどがあれば、ぜひ参加させていただきたいと思います。

【今の課題は？】

■ 現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、サッカー国際大会などが全て中止になっています。部員のみならず、2月27日の安倍総理の要請によって、活動自粛をしています。■ 部活動は、時間を決めて希望者で自主活動を認めています。■ サッカー部は寮に暮らしている県外の子もたちも多くて、今回の対応は保護者と相談しながら進めています。



サッカー部 坂本龍汰キャプテン



【市民の皆さんへのメッセージ】

■ 矢板の皆さんにはいつもお世話になり、ありがとうございます。■ これから、もっと矢板市を盛り上げていき、いろんな人たちに自分たちのサッカーを見てもらって、勇気と感動を与えられるように頑張ります。

矢板市のアスリートをご紹介します。



パラ駅伝 加治佐 博昭さん



走り幅跳び 福田 蒼依さん



駅伝 兼子 咲楽さん

【心がけていること・力になっていることは？】

■ パラリンピックに出たいという夢を持ち、具体的な目標を立てて地道な練習を継続しました。■ 思うような結果が得られなかった時は、新たな課題を見つけ出し、クリアできるよう努力を重ねました。■ 練習が辛い時は、支えてくれる人、応援してくれる人がいることを思い出しました。■ 走ることができる環境に感謝を忘れないようにしました。

■ 日々の積み重ね、欠点の改善に努めてきました。■ また、いろいろな先生からアドバイスをもらい、練習を頑張ってきました。

■ 那須塩原Jr.陸上クラブに所属し、とちぎ未来アスリートプロジェクト「エクセレントキッズ」一期生として、栄養学や効果的な練習法などを学び、母も食事に気を遣ってくれています。■ 私には、「駅伝の地区タイム」の目標があります。■ 目標に向けて、努力を楽しむことができれば、目標達成につながります。

【矢板市議会のイメージは？】

■ 目立とうとせず、一人一人ができることをして、縁の下の力持ちとなって、矢板市を支えていると思います。



■ 矢板市をより良く発展させるイメージです。



■ 中学2年生の時、同級生が「子ども議会」に参加したので身近に感じましたし、記事を読んで楽しそうだと思いました。■ 「議会だより」は、初めは大人のものと思っていましたが、子ども向けに発信されていて、市民全員にメッセージが届くようになっていました。

【矢板市に望むことは？】

■ 障害の有無に関係なく「栃木でスポーツをするなら矢板に行こう」となるような環境になれば幸いです。

■ たくさんの方に矢板の良いところを知ってもらいたいです。そして、いろんなスポーツに力を入れてほしいです。

■ とちぎフットボールセンターで一周走ることができるコースがあるとありがたいです。■ また、長峰公園が夜にライトアップされていると練習ができるので助かります。

【市民の皆さんへのメッセージ】

■ 東町に住む視覚障害者の加治佐です。地域のみなさんの優しさと思いやりのおかげで、安心して暮らすことができている。声をかけていただけることが何よりの助けであり、支えとなっています。■ 助けられるだけでなく、市民の一人として地域に貢献したり、社会に役立ったりすることはできないだろうかと考えています。私にもできることがあればお声掛けください。

■ 応援して下さる矢板市民の皆様、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも練習を積み重ね、成果を発揮できるように努力して頑張ります。

■ 矢板市の代表に選んでいただいたことに感謝し、皆さんに希望を届けられるように楽しんで走りたいと思います。■ 将来は管理栄養士になって、栄養指導をしながら陸上指導に携わりたいです。■ これからも応援よろしくお願いします。

第360回 3月定例会 (2月28日～3月19日)の審議結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	市長の専決処分事項承認について 専決第1号 令和元年度矢板市一般会計補正予算(第6号)	承認
議案第2号	令和2年度矢板市一般会計予算	全会一致で 原案可決
議案第3号	令和2年度矢板市介護保険特別会計予算	
議案第4号	令和2年度矢板市国民健康保険特別会計予算	
議案第5号	令和2年度矢板市後期高齢者医療特別会計予算	
議案第6号	令和2年度矢板市ハッピーハイランド矢板排水処理事業特別会計予算	
議案第7号	令和2年度矢板市水道事業会計予算	
議案第8号	令和2年度矢板市下水道事業会計予算	
議案第9号	令和元年度矢板市一般会計補正予算(第7号)	
議案第10号	令和元年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第3号)	
議案第11号	令和元年度矢板市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	
議案第12号	ハッピーハイランド矢板排水処理施設整備基金条例の制定について	
議案第13号	矢板市空家等審議会条例の制定について	
議案第14号	ハッピーハイランド矢板排水処理施設条例の制定について	
議案第15号	矢板市印鑑条例の一部改正について	
議案第16号	矢板市監査委員に関する条例の一部改正について	
議案第17号	矢板市職員定数条例の一部改正について	
議案第18号	矢板市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	
議案第19号	矢板市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	
議案第20号	矢板市国民健康保険税条例の一部改正について	
議案第21号	矢板市特別会計条例の一部改正について	
議案第22号	矢板市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案第23号	矢板市介護保険条例の一部改正について	
議案第24号	矢板市営住宅条例の一部改正について	
議案第25号	公共下水道事業等の公営企業会計移行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	
議案第26号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	
議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	
議案第28号	字の廃止及び字の区域の変更について	
議案第29号	市道路線の変更について	

議案をこのように審査しました。

委員会 審査 レポート

注目議案はコレ!!



PICK UP 1 台風19号災害復旧のため、追加補正!

議案第1号から

台風19号災害復旧に関して、追加で補正予算が組まれました。災害復旧関連では、約2億4千万円が計上され、専決処分がなされました。今回の補正は、農地災害復旧費や、道路や河川にかかる災害復旧費がメインとなっています。



中川(ちゅうかわ)の決壊により、被災した農地

委員会コメント

台風19号の災害復旧に関し、迅速な対応を評価。財源として財政調整基金からの繰り入れなどがあるが、財政調整基金の残額にも注意されたい。

PICK UP 2 ハッピーハイランド排水処理施設、市が管理へ。

議案第6号から

令和2年4月1日より、ハッピーハイランド矢板の排水処理施設が、市へ移管されます。同時に、団地内の方が施設修繕等のため積み立てていたお金が、市へ寄付されます。今後は、市の一般会計とは別に、「特別会計」として運営がなされていきます。



移管されるハッピーハイランド矢板の水処理施設

委員会コメント

処理施設運営に当たっては、一般会計からの繰り入れが懸念される。公営企業会計への法適用化等、健全な運営を期待する。

総務厚生常任委員会

◎櫻井恵二 ○中里理香 石塚政行 神谷 靖
伊藤幹夫 和田安司 石井侑男 中村久信

・市長の専決処分事項承認について 専決第1号 令和元年度矢板市一般会計補正予算(第6号)

概要 令和元年10月12日から13日未明にかけて、本市付近を通過した台風19号による、大雨被害に係る災害復旧経費等で、歳入歳出にそれぞれ2億4720万円を追加計上し、予算総額を153億9580万円に補正したものの。

・令和元年度矢板市一般会計補正予算(第7号)

概要 歳入歳出にそれぞれ350万円を追加計上し、予算総額を153億9930万円に補正するもの。

・令和元年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第3号)

概要 歳入歳出にそれぞれ33万円を追加計上し、予算総額を32億1961万6千円に補正するもの。

・矢板市印鑑条例の一部改正について

概要 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されたことなどに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

【詳細QR】



【詳細QR】



市政を問う。

3/3・3/4

市政の課題や将来の展望について^{ただ}質す一般質問。
3月議会では、6人の議員が質問をしました。
「矢板を良くしたい！」
各議員の熱い思い、ご一読ください。



掛下 法示 議員

【今回の質問】

1. 矢板市の公共交通について
2. 2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロの推進

矢板市の公共交通について問う。 2050年度温室効果ガス排出量ゼロ宣言！

質問

運行時間の正確な定時路線バスと、時間ははっきりしないが、どこでも乗り降り自由なデマンド交通の双方の利点を生かし、人口密度の多い地域と市内を結ぶ定時路線バスとバス運行していない地域を結ぶデマンド交通の併用方式を望む。市の見解を伺う。

答弁

人口カバー率74.6%（H30.4月時点）を、デマンド方式を導入して100%とすることを計画の柱としている。しかし、デマンド交通のデメリットもあるので、市民の声やパブリックコメントも参考にし、利用しやすい公共交通体系の確立を目指す。

質問

今年2020年が未来の分岐点として、これから10年間で対策しないと温暖化暴走し、もう人の手では地球温暖化を止めることが不可能になるという。矢板市の地球温暖化対策の取り組みとして、2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロ宣言の取り組みを提案する。市の見解を伺う。

答弁

平成30年施行の気候変動適応法で地方自治体の役割として気候変動への適応策の推進等がある。これを受け、那須塩原市と連携を図りながら気候変動への適応政策に取り組んでいく。宣言については、那須塩原市と共同歩調を取る中で検討を進める。

【詳細QR】



経済建設文教常任委員会

◎藤田欽哉 ○高瀬由子 掛下法示 佐貫 薫
関由紀夫 小林勇治 宮本妙子 今井勝巳

議案第11号

令和元年度矢板市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

概要 歳入歳出からそれぞれ480万円を減額し、予算総額を7億3554万6千円に補正するもの。

議案第12・14号

・ハッピーハイランド矢板排水処理施設整備基金条例の制定について ・ハッピーハイランド矢板排水処理施設条例の制定について

概要 ハッピーハイランド矢板排水処理施設を令和2年4月から市の施設として管理運営することに伴い、必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもの。

議案第13号

・矢板市空家等審議会条例の制定について

概要 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく特定空家等に対する措置を行うに当たり、個人の財産権の制限等に関わる審議を行うため、委員の身分を明確にし、審議会運営の円滑化を図る必要があることから、新たに条例を制定するもの。

議案第21号

・矢板市特別会計条例の一部改正について

概要 ハッピーハイランド矢板排水処理事業特別会計を設置すること及び公共下水道事業等が地方公営企業法適用により公営企業会計へ移行することに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第24号

・矢板市営住宅条例の一部改正について

概要 民法の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第25号

・公共下水道事業等の公営企業会計移行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について

概要 令和2年4月から公共下水道事業等が地方公営企業法適用により公営企業会計へ移行することに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第29号

・市道路線の変更について

概要 JR片岡駅東口駅前広場整備事業の完成に伴い、市道路線を変更したいので、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。

議案第16号

・矢板市監査委員に関する条例の一部改正について

概要 地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第17号

・矢板市職員定数条例の一部改正について

概要 令和2年4月から公共下水道事業等が地方公営企業法適用により公営企業会計へ移行することに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第18号

・矢板市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について

概要 会計年度任用職員制度が施行されることに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第19号

・矢板市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

概要 特別休暇である夏季休暇の取得期間を延長するため、条例の一部を改正するもの。

議案第20号

・矢板市国民健康保険税条例の一部改正について

概要 安定した国民健康保険事業運営を図ることを目的に、所得割額及び均等割額の見直しを行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第22号

・矢板市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

概要 基準府令となっている特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第23号

・矢板市介護保険条例の一部改正について

概要 介護保険法施行令の一部改正に伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第28号

・字の廃止及び字の区域の変更について

概要 平成25年10月11日付け、栃木県農整第1-7号で計画決定のあった県営中山間高原（倉掛）地区土地改良（区画整理）事業の施行の結果、現況に符合しない区域が生じ、変更を必要とするため、法の定めるところにより、議会の議決を求めるもの。



中里 理香 議員



アレルギーの子の学校生活について問う。 不登校の子どもへの支援について問う。

質問

現在、エピペンの研修を受けた教職員の数は十分かと思うが、どのような共通理解を図り、また、どのような研修が行われているのかを伺う。

答弁

本年度、市立小中学校においては、エピペンを持っている児童生徒の在籍校は5校で、在籍している、していないによって多少研修内容に違いがある。注意すべき初期症状や緊急時のマニュアルの配布などにより研修を行い、全職員が十分にその取扱いを把握するようにしている。エピペンの保管場所は学校によってルールを決めている。職員の共通理解を徹底し、緊急時の対応に備えている。

質問

文科省からの、不登校の子どもへの支援等に係る通知を受け、今後市としてどう取り組んでいくのか伺う。

答弁

矢板市としては、不登校児童生徒への支援を充実させるため、県配置のスクールカウンセラーや、市スクールソーシャルワーカーを効果的に活用する。また、組織的・計画的に支援を実施するため、「児童生徒理解・支援シート」の作成と活用について検討したい。さらに、適応指導教室以外の民間のフリースペース等が、指導要録上の出席扱いにすることができかどうかなどのガイドライン策定についても研究を行う。

【今回の質問】

1. アレルギー疾患の子ども達の学校生活について
2. フリースクールについて



石塚 政行 議員



矢板市における子育て支援について問う。 不登校・引きこもり・いじめについて問う。

質問

子育て世代の方々には、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)とQOL(生活の質の向上)の両立が求められるのではないかとと思うが、市の考えを伺う。

答弁

これらの両立を図る上で、全ての世帯に画一的な手法で取り組むことは困難であることから、支援を求める一人ひとりに寄り添いながら、必要な支援を地道に行うことに尽きると考えている。そうしたことで、全ての子どもたちが豊かで充実した人生が送れることを願うばかりである。

質問

本市には適応指導教室と民間フリースペースが存在するが、民間フリースペースの現状を見た上でどう感じているか伺う。

答弁

適応指導教室の他に民間フリースペースがあり、不登校傾向の児童生徒が数名利用していると伺っている。学校以外の居場所、学びの場が存在することは、不登校児童生徒にとって安心感にもつながるものと考えている。今後は、民間フリースペースなどの活動状況を確認し、活用について研究していく。

【今回の質問】

1. 矢板市における、子育て支援について
2. 不登校・引きこもり・いじめについて



神谷 靖 議員



持続可能な市政へ！SDGsを訴える。 矢板市文化会館の今後はどうなるのか？

質問

国連で決められた「持続可能な開発目標」SDGsを市政へ反映させる取り組みについて当局に伺う。

答弁

令和3年度からの次期矢板市総合計画について、SDGsの17のゴールを関連づけ明記して策定していく。また、矢板市環境基本計画の見直しについて、SDGsの考え方を積極的に取り入れ、環境の取り組みを更に推進するように対応する。そして、脱炭素社会を目指すSDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」について、2050年の脱炭素化の実現に向け調査研究していく。また、地域循環共生圏に取り組み脱炭素社会実現を進めていく。

【今回の質問】

1. 「持続可能な開発目標」SDGsの取り組みについて
2. マイナンバーカードを用いた市民サービス向上について
3. 矢板市文化会館の今後について
4. 高齢者の運転免許証返納後の対応について

質問

復旧断念が公表された文化会館の今後の動向について伺う。

答弁

予算やスケジュールについては、民間調査機関で現在調査中であり、調査検討結果により方針が決まる。早めに議会・市民へ提案し、意見を聞く機会を多く設ける。とちぎフットボールセンター未利用地の活用を想定しており、適正な文化会館の規模、屋内体育施設等との複合化のあり方についても調査・検討を行う。なお、文化会館機能を有する屋内施設を整備しても、現在の文化会館周辺駐車場187台分はフットボールセンター内に確保できる見込みである。



高瀬 由子 議員



障がいのある方にタブレット教育充実を！ 高校生地域おこし隊Yaita All Directionsに支援を！

質問

障がいのある方ほど、自立のための職業訓練を必要とする。家族と連携して将来を見据えた実践的教育を行うことで「自活できるひとづくり」が可能ではないか。より良い共生社会実現のために今後の意向を伺う。

答弁

文科省は「障がいのある児童生徒にはICT教材の活用により効果的学習支援が必要」と報告している。矢板市では小中特別支援学級の全児童生徒に1人1台タブレット端末を配備。デイジー教科書活用のためシステムを整備し特別支援教育充実を図っている。学校での学習内容を保護者に伝え、連携した学習・生活支援を図る。

質問

2年前、「高校生の居場所づくり」提案後に設立された高校生団体Yaita All Directionsが花火大会での出店や高校生のためのグルメマップ作成などを行っており、ふるさと支援センターTAKIBIにて活動している。「高校生版地域おこし隊」ともいえる団体にどのような支援を行っているのか。

答弁

各校3年生の卒業により、現在は矢板東校1・2年生19名で活動。月1回定例会を開催し、自ら計画を立て実施。4月にメンバー募集チラシを3校に配布予定。活動が円滑に実施できるよう定例会での助言や学校、関係機関と連携した支援に努める。

※こちらの本文は、質問者本人が作成しています。
※議員写真右下のQRコードから各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。動画中の注意事項を確認の上、ぜひご覧ください。



中村 久信 議員

【今回の質問】

1. 中小企業退職金共済制度補助について
2. 八方ヶ原観光資源の整備について
3. 自然災害について
4. 大手企業の工場利活用について

中小企業退職金制度補助について問う。 八方ヶ原観光資源の整備について問う。

質問

中小企業退職金共済制度補助の適用実績と今後の取り組みについて伺う。

答弁

この補助については、昨年4月から実施しており、本年1月末までの適用実績は21事業所で共済者数は69名となっている。

これまでも、ホームページや広報、窓口でのパンフレット設置などに取り組んできたが、まだまだ制度を知らない事業者も多いと考えられる。従って、新たに商工会の発送物の中にチラシを同封していただくなど、この補助制度のさらなる周知を図り、利用者の拡大につなげていく。

質問

八方ヶ原観光資源の整備状況と今後の取り組みについて伺う。

答弁

八方ヶ原観光資源の整備については、眺望景観のための取り組みとしては、修景伐採が必要な8カ所を栃木県に提出している。また、おしらじの滝周辺の整備として、昨年10月に安全確保のための手すりや柵を設置した。大型バス運行の支障となっている枝等の除去については、栃木県に要望し実施している。道路の拡幅や駐車場の拡張は、早急な進展が困難なためパーク&バスライドを実施する。トイレ等の施設が老朽化しているので整備計画の策定が必要。

傍聴する際のお願い



- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、矢板市議会では、議場の傍聴の際はマスクを着用いただくことをお願いしています。
- 咳エチケットの徹底、手洗いもあわせてお願いいたします。
- 常任委員会など各委員会については、密集するリスク等を避けるため、傍聴を不可とさせていただきます。
- 次のような症状がある方につきましては、来場をご遠慮くださいますようお願いいたします。
 - ・ 風邪の症状や 37.5℃ 以上の発熱が続いている。
 - ・ 強いだるさや息苦しさがある。
- 本会議については、インターネット録画中継でもご覧になれますので、ご活用ください。
- 状況によって対応が変更となる場合がありますので、ご了承ください。



議会録画配信QR▶



ご報告

令和元年度「政務活動費」の交付状況

矢板市議会の政務活動費は、1人当たり年額24万円(※)が上限です。平成28年度までは、政務活動費を事前に交付していましたが、平成29年度からは、執行額を後日請求する「事後交付制度」を採用しています。事後交付制度では、年2回(上半期・下半期)の実績報告書の提出を義務付けています。今号では、令和元年度の政務活動費の交付状況についてご報告いたします。



交付決定額	352万円
交付確定額 (執行率65.44%)	230万3,338円
交付残額	121万6,662円

《執行内容の内訳》

研究研修費	26万4,530円
(主な支出は、研修会参加負担金、宿泊費、交通費などです)	
調査費	135万3,937円
(主な支出は、宿泊費、交通費、燃料費などです)	
資料作成費	2,874円
(主な支出は、印刷費、写真プリント代、文書コピー代などです)	
資料購入費	74万8,871円
(主な支出は、図書購入費、新聞購読料などです)	
事務所費	0円
(主な支出は、事務機器リース代などです)	

※平成31年度分(4月分)は、交付の実績がなかったため今回含めておりません。

議員別の詳細は、矢板市議会ホームページで公開しております。



政務活動費 Q&A

- Q. そもそも「政務活動費」って何?
- A. 議員が政策立案や政策提言の力を高めるため、調査研究活動を行う際の経費です。

- Q. どんな経費が認められているの?
- A. 上の表に記載されている研究研修費、調査費などが経費として認められています。

【詳細QR】



令和元年度 矢板市議会

議席番号	議員氏名	交付決定額	実支出額の内訳									実支出額合計	交付決定額	執行率 (%)	交付残額		
			期間	研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広聴費	人件費	事務所費	その他の経費						
1	石塚 政行	220,000	上半期									0	0	31.17%	151,419		
			下半期		68,581								68,581			68,581	
			合計	0	68,581	0	0	0	0	0	0	0	68,581			68,581	
2	掛下 法示	220,000	上半期	84,340		2,874	32,734						119,948	119,948	100.00%	0	
			下半期	50,920	84,556									135,476			100,052
			合計	135,260	84,556	2,874	32,734	0	0	0	0	0	255,424	220,000			
3	神谷 靖	220,000	上半期												44.02%	123,159	
			下半期		68,491		28,350							96,841			96,841
			合計	0	68,491	0	28,350	0	0	0	0	0	96,841	96,841			
4	中里 理香	220,000	上半期				174,029						174,029	174,029	100.00%	0	
			下半期		65,810									65,810			45,971
			合計	0	65,810	0	174,029	0	0	0	0	0	239,839	220,000			
5	高瀬 由子	220,000	上半期												66.182%	69,92	
			下半期		68,491		85,327							153,818			153,818
			合計	0	68,491	0	85,327	0	0	0	0	0	153,818	153,818			
6	櫻井 恵二	220,000	上半期									0	0	73.50%	58,298		
			下半期		161,702											161,702	161,702
			合計		161,702	0	0	0	0	0	0	0	161,702			161,702	
7	藤田 欽哉	220,000	上半期									0	0	73.50%	58,298		
			下半期		161,702											161,702	161,702
			合計	0	161,702	0	0	0	0	0	0	0	161,702			161,702	
8	佐貫 薫	220,000	上半期				89,381						89,381	89,381	88.55%	25,188	
			下半期		68,581		36,850							105,431			105,431
			合計	0	68,581	0	126,231	0	0	0	0	0	194,812	194,812			
9	伊藤 幹夫	220,000	上半期	95,200									95,200	95,200	100.00%	0	
			下半期	31,070	68,491		36,850							136,411			124,800
			合計	126,270	68,491	0	36,850	0	0	0	0	0	231,611	220,000			

平成31年度分(4月分)は、交付の実績がなかったため、掲載しておりません。

(交付の手順は、交付申請→交付決定→政務活動→実績報告→交付確定→請求→交付の手順によります。)

政務活動費交付状況一覧

(単位：円)

議席番号	議員氏名	交付決定額	実支出額の内訳									実支出額合計	交付決定額	執行率 (%)	交付残額		
			期間	研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広聴費	人件費	事務所費	その他の経費						
10	関 由紀夫	220,000	上半期				33,374						33,374	33,374	15.17%	186,626	
			下半期										0	0			
			合計	0	0	0	33,374	0	0	0	0	0	33,374	33,374			
11	小林 勇治	220,000	上半期										0	0	73.50%	58,298	
			下半期			161,702								161,702			161,702
			合計	0	161,702	0	0	0	0	0	0	0	161,702	161,702			
12	和田 安司	220,000	上半期				108,816						108,816	108,816	49.46%	111,184	
			下半期										0	0			
			合計	0	0	0	108,816	0	0	0	0	0	108,816	108,816			
13	宮本 妙子	220,000	上半期										0	0	31.13%	151,509	
			下半期			68,491								68,491			68,491
			合計	0	68,491	0	0	0	0	0	0	0	68,491	68,491			
14	石井 侑男	220,000	上半期	3,000			40,000						43,000	43,000	93.05%	15,298	
			下半期			161,702								161,702			161,702
			合計	3,000	161,702	0	40,000	0	0	0	0	0	204,702	204,702			
15	中村 久信	220,000	上半期				83,160						83,160	83,160	68.93%	68,349	
			下半期			68,491								68,491			68,491
			合計	0	68,491	0	83,160	0	0	0	0	0	151,651	151,651			
16	今井 勝巳	220,000	上半期										0	0	35.07%	142,854	
			下半期			77,146								77,146			77,146
			合計	0	77,146	0	0	0	0	0	0	0	77,146	77,146			
合計	3,520,000	上半期	182,540	0	2,874	561,494	0	0	0	0	0	746,908	746,908	65.44%	1,216,662		
		下半期	81,990	1,353,937	0	187,377	0	0	0	0	0	1,623,304	1,556,430				
		合計	264,530	1,353,937	2,874	748,871	0	0	0	0	0	2,370,212	2,303,338				
全体構成比 (%)			11.2%	57.1%	0.1%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%					